



春休みも始まり歓声の子どもたち、梅や桃が終わりじきに桜の季節が巡ってきます。  
おいでおいでルーム(以下ルーム)は、この一年間健やかに利用者の方々と共に、過ごせたこと何よりの喜びでございます。お陰様でルームも6年に入り、**新しいキャラクター「ふーみん」の登場となりました。** 幾久しくよろしくお祈いします。

26年度も「おいでおいで」、いつもその言葉が聞こえる居場所になるよう、一同励んでまいりますので、ご支援の程宜しくお祈い申し上げます。

## 子育ての仕方・・・7つの基本

代表 伊東 二美江

子どもは、生物上の父親と母親があつて生まれますが、生まれますと社会的な存在となつて「社会の子ども」の側面を持ちます。従つて子育ては、多くの人に助けられてもらうことを前提として成り立っていることをまず申し上げたいのです。おいでおいでルーム(以下ルーム)は、誰が誰のママなのか、誰と誰が兄弟なのかわからないぐらい、みんな安心して遊んでいます。幼稚園や保育園などの集団生活を始める前に、お友達と関わりながら、小さいなりにお互いを意識して、そして、たくさんの大人たちに愛され育つていく子どもたち。一緒にランチを食べたり、喧嘩して泣いたり、また遊んだり、親も子どもも自然体でお互いに分かち合い助け合っているのがルームです。今本当に求められているのは、こんな居場所ではないかと常々感じています。

### さて・7つの基本とは

- 1・早い時期から見つめ合うこと、笑いかける・話しかけること・ほめることを行いましょう。  
例えばほめる時は行為をほめる・・・「靴がはけたね。偉いね」。
- 2・短い時間でもよいので一緒に遊ぶ時間をつくりましょう。  
午前中は、子どもにとって大切な活動の時間帯です。
- 3・休日は出来るだけ、戸外で体を動かして遊びましょう。
- 4・夜は遅くも22時には眠る子どもの生活リズムを親がつくつてあげましょう。
- 5・衝動のコントロールの仕方は、やさしく相手への表現を繰り返し教えましょう。  
叱り過ぎてもマイナス効果・常に叱られているとまたかと無視する
- 6・携帯電話での遊びは4歳半過ぎてから  
それまでは、「大人が使うものだから触らないよ」を徹底的に教えます。
- 7・ママが一人で頑張らない  
子育てが思うようにならずにイライラした時、しつけが上手にいかないと感じた時、社会的な居場所で、いろいろな子育てに関する知恵を授けてもらいましょう。



### 平成26年度のスタッフを紹介しましょう

代表・・・いとう ふみえ(伊東二美江) 副代表・・・あんど う まきこ(安藤 眞貴子)

- ※ ママスタッフリーダー・・・さとう まき(佐藤 真希)
- ママスタッフ・・・・・・はやし まきこ(林 麻紀子)
- ママスタッフ・・・・・・はら けうおる(原 桂月)
- ママスタッフ・・・・・・なかざわ かなこ(中澤 加奈子)

他に保育ボランティアが不定期で遊びに来ます

※長年ママスタッフとして御力を頂いた「福家真奈美さん」が3月末でルームを卒業いたします。長い間たくさんの愛しみに感謝申し上げます。





## 寄稿・・・おいおいでおいでルームとの出会い<7ヵ月男児のママから>

ルームの皆さんに出会うまでは、両親や兄弟も近隣にいない私たちの子育ては、育児書やインターネットの情報だけを頼りに、夫婦だけで奮闘して一步も外出もせず、産後の心と体の不調から抜け出せず、ずがる思いで、偶然に目に入ったところでルームを訪ねました。

ルームの中は、人のぬくもりで暖かく、保育者や先輩ママが親身になって、子育てや離乳食の作り方与え方など、子どもの様子を見ながら手を添えてくれ、次々に今までの疑問が一気に解消され、みるみるまに親子共々、訪ねたその日から元気をもらうことができました。毎水曜日の特別メニュー「ママヨガ」にも参加、整体でもなおらなかった腰痛もすっかり良くなりました。また、イベントのカウンセリングの「コミュニケーション講座」にも参加、ここでも自分を振り返ることができ大変助けられました。ルームの存在は、単なるママ同士の愚痴や井戸端会議に終わらず、安心して前向きに問題を解決できるため、家族の絆がますます深まったように思います。今では、元気に自宅から飛び出し、定期的に居場所の中で、親子共々遊んで食べて過ごして、たくさんの愛情をいただいています。これからもルームでたくさんのことを経験して、私も子どもと共に成長していきたいと願っています。

## 卒園するに当たり・・・ママスタッフ 福家真奈美

今春、下の娘がとうとう卒園しました。我が家から幼児がいなくなったことに驚きです。これも成長の証ですが、どことなく寂しいものです。思い返せば5年前。私が初めて伊東先生と出会ったのは下の娘が6カ月の時でした。これまた驚きです。そこから先生にお世話になりっぱなしで今まで過ごしてきました。

ルームと出会うまではいろいろな子育てサロンの場所を点々としていましたが、ルームはとくに居心地がよくそのままヘビロテに。気がつけばスタッフにまでなっていました(笑)

スタッフとして言うわけではありませんが、ルームは「唯一無二」の場所ではないでしょうか。わが子がほかのママと遊ぶ姿がみられ、またほかのお子さんと遊ぶことができる。異年齢のなかで遊ぶわが子の姿も。

この場所に出会ったことの「意味」。それはルームに来てくださっているママたち自身が感じていることだと思います。この春、娘とおなじように私もスタッフを卒業します。とはいっても「いち会員・いちママ」ということに何らかわりはありません。居心地のよさ、そしてルームの「意味」を求めてこれからもルームを利用し続けていきますので、お会いした時は是非ママトークしましょうね。



## 4月からのお願い事項です



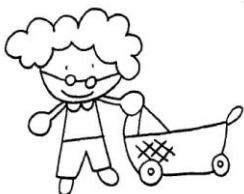
※この4月 HP を更新しました。ブログは、日々の活動やイベント報告など楽しい情報をアップしています。皆さんからのコメントもどしどしお寄せください。お待ちしております！

※利用者のお子さんの誕生月に合わせて、写真入りお誕生カードとメダルをプレゼントしています。ママとパパのメッセージもあり、みんなで祝いましょう。

※26年度から子どもの洋服が必要な時に、リサイクルできるよう陳列して、お買い物の場所を設けたいと思います。購入する方も提供する方もルールがありますので、スタッフにお問い合わせください。また「かわいい小物の手作り品」の販売も常時行います。ご利用ください。

※今年度から会員証や会則・利用の仕方について少し改正を行いました。新規更新の折に窓口でお訪ねください。

## ※募集中・・・どんだんご提案ください



◎ お子さんを遊ばせながら、ママボランティアをやりませんか。

◎ ママの特技をルームで活用しませんか。

(例えば赤ちゃん向けのABC・おたのしみネール・癒しのマッサージ等)